

授業の概要

下顎の基本運動および咬合様式を理解する。さらに、修復物・有床義歯製作に使用する咬合器について、操作および原理を理解するとともに、咬合器と生体の関連についても学習する。また、咬合接触状態の検査や顎機能障害に対する対応についても修得する。

■教科書：最新歯科技工士教本 顎口腔機能学(医歯薬出版)

■授業時間：月曜日 18：00～18：45

■オフィスアワー：本田 順一 (honda.junichi@nihon-u.ac.jp) 月曜日 17：00～17：45

小平 晃久 月曜日 17：00～17：45

市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 月曜日 17：00～17：45

■成績評価：前期は定期試験(40%)，平常試験(10%)，後期は定期試験(40%)，平常試験(10%：5%×2)として総合評価とする。平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第14・15回時に平常試験と解説を実施する。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：本田順一・小平晃久：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座に在籍しており，顎口腔系の機能と調和した補綴装置を製作において顎運動や咬合器の調整がいかに重要であるかを歯科医師の立場から説明することで，理解の向上に繋がると考える。

市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに，本教科で学ぶ内容や理論，手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から，わかりやすく丁寧に教えていく。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
第1回9月30日 本田 順一	1. 下顎位(1)	・ 各下顎位の定義を説明できる。
第2回10月7日 市川 裕美	2. 歯の接触様式 歯の形態と機能(1)	・ 上顎臼歯部の機能咬頭，非機能咬頭について説明できる。
第3回10月21日 本田 順一	1. 下顎位(2)	・ 各下顎位の臨床的意義について説明できる。
第4回10月28日 小平 晃久	3. 下顎運動(1)	・ 下顎運動の種類と特徴について説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
第5回11月11日 市川 裕美	2. 歯の接触様式 歯の形態と機能(2)	<ul style="list-style-type: none"> 上顎臼歯部の機能咬頭, 非機能咬頭について説明できる。
第6回11月18日 小平 晃久	3. 下顎運動(2)	<ul style="list-style-type: none"> 頭蓋に対する下顎の運動範囲について説明できる。 切歯点の運動と顎頭運動の対応について説明できる。
第7回11月25日 市川 裕美	2. 歯の接触様式 歯の形態と機能(3)	<ul style="list-style-type: none"> 上顎臼歯部の機能咬頭, 非機能咬頭について説明できる。
第8回12月2日 小平 晃久	2. 歯の接触様式	<ul style="list-style-type: none"> 咬頭嵌合位における咬合接触について説明できる。 偏心位における咬合接触について説明できる。 咬合干渉の種類と原因について説明できる。
第9回12月9日 市川 裕美	2. 歯の接触様式 歯の形態と機能(4)	<ul style="list-style-type: none"> 上顎臼歯部の機能咬頭, 非機能咬頭について説明できる。
第10回12月16日 本田 順一	3. 咬合器(1)	<ul style="list-style-type: none"> 咬合器の使用目的を説明できる。 フェイスボウの必要性を説明できる。
第11回12月23日 市川 裕美	2. 歯の接触様式 歯の形態と機能(5)	<ul style="list-style-type: none"> 上顎臼歯部の機能咬頭, 非機能咬頭について説明できる。
第12回1月20日 本田 順一	3. 咬合器(2)	<ul style="list-style-type: none"> 咬合器の調節方法を説明できる。
第13回1月27日 本田 順一	4. 咬合検査と顎機能障害	<ul style="list-style-type: none"> 咬合検査の目的を説明できる。 咬合検査の種類と特徴を説明できる。 顎機能障害への対応について説明できる。
第14回2月10日 小平 晃久	5. まとめ 平常試験	<ul style="list-style-type: none"> 第1回から第13回までの講義内容について理解度を確認する。 理解度の低い箇所について知識を深めることができる。
第15回2月17日 本田 順一	5. 後期まとめ 平常試験・解説	<ul style="list-style-type: none"> 第1回から第13回までの講義内容について理解度を確認する。 理解度の低い箇所について知識を深めることができる。